

体内環境の統合的理解により 疾患克服に迫る

日時 令和5年11月10日(金) 14:30~16:30

形態 オンライン(Zoom)事前申込み
当日まで申込みできますが、
500名を超えた場合は申込みを制限させていただきます。

視聴方法

QRコードまたは下記のURLからアクセスください。
事前登録後、Zoomアドレスをお送りします。
<https://forms.office.com/r/Tw3en1mVqq>



開会の挨拶 門松 健治 名古屋大学 研究担当副総長

PROGRAM



体内代謝環境の理解により生活習慣病の 克服に迫る

環境医学研究所 分子代謝医学分野 教授

菅波 孝祥



DNA損傷に対する生体内防御機構の理解と その破綻による疾患の分子病態

環境医学研究所 発生・遺伝分野 教授

荻 朋男



神経回路形成期カルシウムシグナリングの 多彩な機能と病態への寄与

環境医学研究所 神経系分野I 教授

竹本 さやか



脳を標的化する薬物送達と検証方法

環境医学研究所 脳機能分野 教授

澤田 誠

閉会の挨拶 益谷 央豪 環境医学研究所長

主催 国立大学附置研究所・センター会議第2部会 / 名古屋大学環境医学研究所

問合せ先 名古屋大学環境医学研究所 第2部会シンポジウム担当
E-mail: nu-kanken_2023fuchiken2symposium@t.mail.nagoya-u.ac.jp

Zoom
による
Web開催

参加
無料

一般公開

どなたでも
参加頂けます